



家庭通信 11月号

2022年10月31日

学校法人 織田学園

おだ認定こども園

毎月の家庭通信・献立・保健だより等もHPでご確認いただけます

朝夕と日中の寒暖差が大きくなり紅葉が一段と美しい季節になって参りました。子ども達は秋の日差しの中で思い切り体を動かして遊ぶ心地よさを十分に感じながら毎日を過ごしています。

先週の作品展には、多くの保護者の方にお越しいただきありがとうございました。当園の作品展は観覧するだけではなく、作った物で遊び体験できることが他の展覧会とは大きく異なります。取り組みとしては、3歳未満児の園児達は、様々な素材に触れる感触遊びから始めました。自分の手形が様々な作品へと形が変化していく面白さや、身近な季節の彩りを遊びの中で再現する経験を繰り返しながら微細運動の発達を促し、遊びを通した学びの基礎となっています。この小さい時期の経験があるからこそ幼児クラスになると、自分がイメージした物が作れる器用さと感性が備わってくるのです。幼児クラスになると目的意識がはっきりし、「〇〇のためにこれを作ろう」と試行錯誤が始まります。そして年長組のような大きなテーマを学級全体で取り上げ、子どもが主体的に対話をしながら深い学びへとつながってくるのです。これがアクティブラーニングと呼ばれる教育実践です。作品展の後も小さいクラスの子ども達が2階の保育室に遊びに行き、ワクワクドキドキしながら、遊ばせてもらっている日々が続いています。作品を作った大きい組の子ども達はその姿を見て、誇らしい気持ちになったり楽しませてあげようとしていたり、微笑ましい異年齢交流が生まれています。

保護者の皆様にも、作品展を通して当園の教育実践の一旦を体験していただけたのではないかと考えています。結果の良し悪しではないプロセスを大事にする教育を今後も実践し皆様と共有してまいります。よろしくお願いいたします。

【バスご利用の方へお願い】

日頃よりバスご利用のご協力ありがとうございます。降園時お子様を間違いなくお引渡すために保護者証の提示のお願いしております。人数の多いバス停では小さいクラスの園児からお引渡すようにしていますので、バスが到着しましたら降車口まで来ていただきますようにご協力ください。またバスを降車後は路上で子ども達が遊ぶ事がないように速やかに安全な場所にご移動いただきますようお願いいたします。今後とも園バス運行については安全第一に十分注意してまいりますので、皆様のご協力もよろしくお願いいたします。

11月のねらい

<年長>

- ・進んで戸外で遊び、十分に身体を動かしたり、ルールのある遊びの面白さを味わったりする。
- ・自分なりの目当てや出来るようになりたいことに、繰り返し挑戦し、出来るようになったことを喜ぶ。
- ・友達と考えや思いを出し合い協力したり、分担したりしながら目的に向かって遊びや生活を進める楽しさを味わう。

<年中>

- ・健康に過ごすために必要な習慣がわかり、自分から進んで行おうとする。
- ・身近な自然に触れ、興味を持ったり、取り入れたりして遊ぶ。
- ・気の合う友達と誘い合い、場を作ったり遊び方を決めたりして、自分たちなりに遊びを進めようとする。
- ・色々な友達と関わり、一緒に遊ぶ中で相手にも思いや考えがあることを知り、耳を傾けようとする。

<年少>

- ・色々なものになりきって、ごっこ遊びを楽しむ。
- ・身の回りの物を丁寧に扱おうとする。
- ・保育者や友達と同じ場で、一緒に体を動かす。
- ・保育者や友だちに自分の気持ちや思っていることを言葉で伝えようとする。

<2歳児>

- ・保育者や周りの子と一緒に遊ぶ中で、イメージを共有しながら遊ぶ楽しさを知る
- ・散歩先や園庭などで、走ったり登ったりしながら身体を動かして遊ぶことを楽しむ。

<1歳児><0歳児>

0.1歳児は個別のねらいを立てています